

第3号議案 2023年度事業計画

I 2023年度 基本方針

万緑の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。グローバル化の進展により、この3年間は新型コロナウイルス感染症の影響を全国各地が受け、三重県でも様々な活動が自粛されてきました。

今年度からは国際紛争や自然災害が続く中で、アフターコロナ、デジタル社会の推進等により、社会や教育が急速に変化していく時代に入ると言われ、ますます個人一人ひとりが、世の中の変化に対応していくスキルや心構えをもつことが求められてきます。

本会では、毎年、生涯研修センター、委員会、支部活動において新たなことにチャレンジし、そのような対応力が獲得できる専門職団体として取り組んできましたが、様々な理由により、退会された方々もいます。インターネット等により瞬時に情報知識を得ることは可能ですが、長年にわたる研修受講や委員会活動など、自らの努力によって習得したスキル（真の知識）は、支援を必要とする人や地域に必ず役立つ力となります。

また、職場や所属の地域以外で気心の知れた仲間がいることは、気持ちが前向き、意欲や気力は充実し、お互いに支え合うことで困難に立ち向かうことができます。

今年度は、新たにU-40プロジェクト（特別委員会）の設置やグループウェアを導入し、入会促進、退会抑制、会員交流の取り組みをより推進します。是非、多くの方々が、積極的に興味ある活動にご参加していただくことを願います。

このような時代だからこそ、未来に向けて夢や目標を持つことは大きな力となります。会員の皆様のご自身のキャリアアップが見える、新たな仲間ができる、そして、専門職団体として社会の期待に応えられることを目標に、実現に向けてより一層努力していきますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<重点目標>

- 1 会員のサポート体制の充実を図ります。
 - (1) 会員の学びや交流の場、スーパーバイザー体制の充実を図ります。
- 2 特別委員会にて入会促進及び退会抑制に取り組めます。
 - (1) 前年度の現状分析から、新たな目標を設定しチャレンジします。
- 3 持続的な地域共生社会の実現に寄与するため、多職種連携を推進します。
 - (1) 各専門職等との連携促進を図ります。
 - (2) その他、新たな分野の関係者等との連携を推進します。
- 4 広域連携の促進に取り組めます。
 - (1) 愛知、岐阜、静岡県等の各社会福祉士会と定期的に情報共有を行います。
 - (2) その他、新たな県外関係団体等との連携を推進します。
- 5 組織及び事務局体制の充実を図ります。
 - (1) 本会創設30周年記念行事に向け、特別委員会を設置します。
 - (2) グループウェアを導入し、組織及び事務局体制の充実を目指します。